

「第1回食育推進全国大会」に参加

本年3月に作成された食育推進基本計画において毎年6月が「食育月間」として定められたことを受け、「食育月間」の取組の一環として、6月24日(土)にアジア太平洋トレードセンター(大阪市)において「第1回食育推進全国大会」が開催されました。

食品安全委員会も、本年1月の「ニッポン食育フェア」に引き続き内閣府食育推進室と合同で出展し、リスク分析の手法や食品安全委員会の役割についてのパネルの展示、食品安全委員会が初めて制作したDVD「気になるメチル水銀」の上映、季刊誌など印刷物の配布、アンケ-

ト回答者へのオリジナルエコバッグ贈呈を行いながら、食品の安全性に関する情報の提供やご質問への対応などを行いました。

食育推進基本計画に基づく初めての大会であったにもかかわらず1万人を超える方々にご来場いただき、食品安全委員会が実施した食品の安全性に関する意識などのアンケートには、950名以上の方々にご回答いただきました。

ご協力いただきましたアンケート結果は、第27回リスクコミュニケーション専門調査会で報告し、ホームページで公開しています。

▶ <http://www.fsc.go.jp/senmon/risk/r-dai27/index.html>



内閣府(食育推進室・食品安全委員会)ブース

食品に関するリスクコミュニケーション

「食育とリスクコミュニケーション」意見交換会

6月5日、食品安全委員会は食育月間の活動の一環として「リスクコミュニケーションはいかに食育に貢献できるか」と題した意見交換会を東京にて開催しました。内容は食品安全委員会の坂本元子委員による食育とリスクコミュニケーションの関係についての講演、群馬大学の高橋久仁子教授による講演(「食品の安全と情報リテラシーの向上」)、各方面代

表によるパネルディスカッション、参加者との意見交換です。マスメディア等から発信される健康や食の安全の情報を消費者はどのように読み解き、見極めていくべきか、その「考える道筋」を創るためにリスクコミュニケーションや食育はどうあるべきか等について活発に論議が交わされました。非常にわかりやすい内容でしたので、ぜひ議事録をお読みください。



▶ <http://www.fsc.go.jp/koukan/risk180605/risk-tokyo180605.html>

アン・ローラ・ガッサン氏講演・意見交換会



※のコミュニケーション部長であるアン・ローラ・ガッサン氏を講師として招き「食品の安全性確保のためのリスク評価への消費者関与ーヨーロッパにおける取組から学ぶ」とのテーマでの講演および意見交換会を開催しました。EFSAは2002年に設立された食品安全確保のための組織で、EC(欧州委員会)及びEU(欧州連合)加盟国に対して科学的知見に基づいたリスク評価等を行っている、いわば食品安全委員会の「先輩格」。そのリスクコミュニケーションの在り方は我が国の貴重なお手本ともなるものです。ガッサン氏の「何より

8月30日、東京にてEFSA(欧州食品安全機関)のコミュニケーション部長であるアン・ローラ・ガッサン氏を講師として招き「食品の安全性確保のためのリスク評価への消費者関与ーヨーロッパにおける取組から学ぶ」とのテーマでの講演および意見交換会を開催しました。EFSAは2002年に設立された食品安全確保のための組織で、EC(欧州委員会)及びEU(欧州連合)加盟国に対して科学的知見に基づいたリスク評価等を行っている、いわば食品安全委員会の「先輩格」。そのリスクコミュニケーションの在り方は我が国の貴重なお手本ともなるものです。ガッサン氏の「何より

【講演者プロフィール】

●アン・ローラ・ガッサン氏
(Ms. Anne-Laure Gassin)

EFSA(欧州食品安全機関)コミュニケーション部長。ハーバード大卒(生物学)、パリ商業高等学院修士課程修了、ケロッグ社に勤務の後、欧州委員会保健・消費者保護総局で食品栄養表示の法改正準備に寄与、2003年10月から現職。

※EFSA(欧州食品安全機関):欧州委員会とは法的に独立した機関として2002年1月設立。食品の安全性について欧州委員会などに独立した科学的な助言を与える。リスク評価は同機関内の9つの科学パネルが担う。2006年7月現在、科学者191名、スタッフ211名、予算4,660万ユーロ(約70億円)。

▶ <http://www.fsc.go.jp/koukan/risk180830/risk-tokyo180830.html>